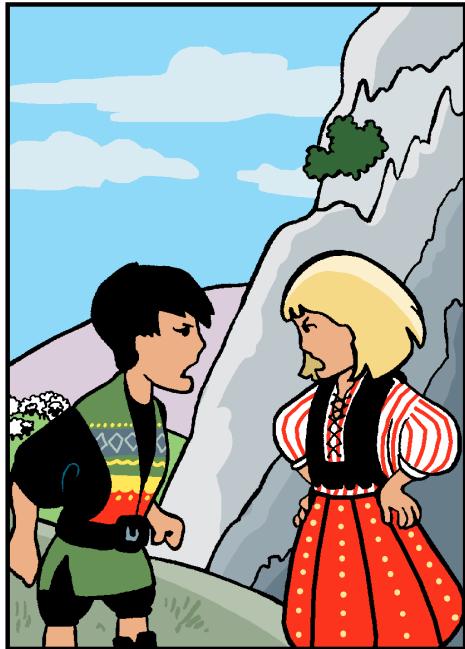


にとう 2頭の やぎが 争いを 解決する

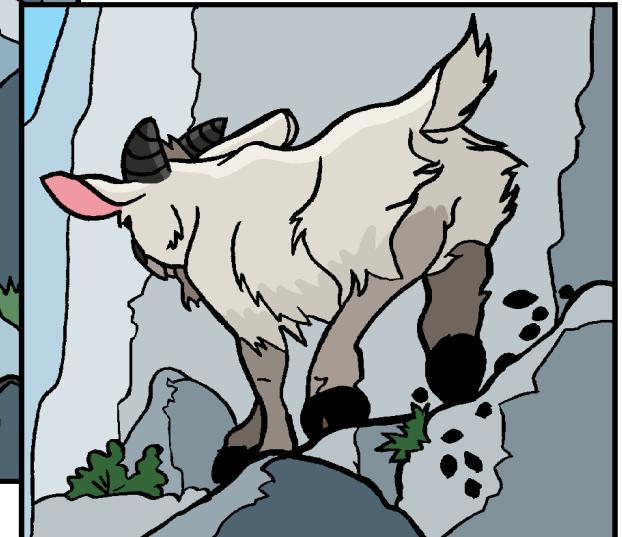
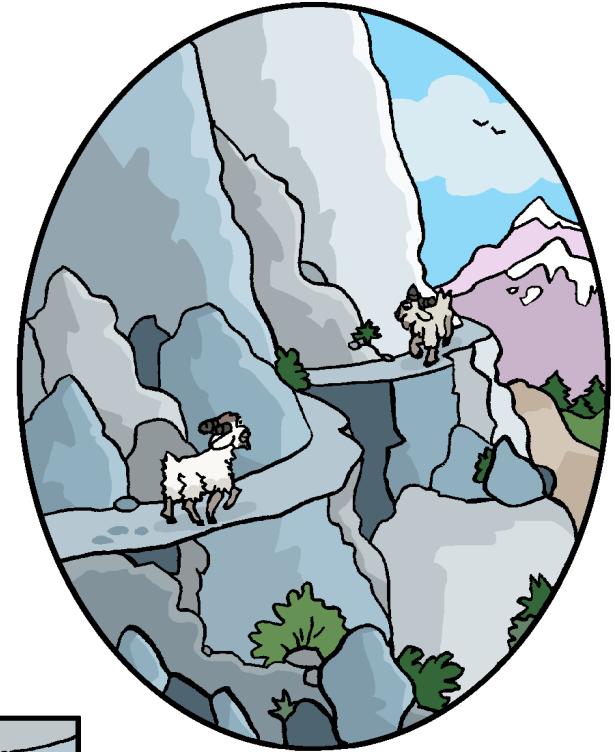


にとう
2頭の やぎが、せまい
やまみち ある
山道を 歩いていた。

いつとう
1頭は、山道を 登っていた。

もう いつとう
もう 1頭は、山道を 下ってきた。

やまみち
山道は、1度に 1頭しか
とお 通れないほど せまかった。
つまり、すれちがう ことは
できないという ことだ。





その後^{あと}ヤギは起き上がり、^お^あ山道を^{やまみち}登り続けたんだよ。

争いはしばしば、たがいが自分の考え方をおし通したがるために起る。こういう時は、立ち止まって、相手の人の言いたいことについてよく考えてみることが大切だ。例の2頭のヤギのように、たとえ、どちらも自分の意見を完全に取り下げる相手の望み通りにさせるわけがないとしても、へりくだつて相手の意見に耳をかたむけることは、大切なことなんだ。

そうすることによって、しばしば両方が満足できるような解決策が見つかったりするものだ。たとえ、言い争いを治めるためにどちらかが他方の意見にゆずる必要があったとしても、物事が進むことには満足できるだろう。

意見の食いちがいは、とても困難なことにもなり得る。だれが正しいか

よりも、何が正しいか、たがいの必要は何かを、もっと考える必要がある。しばしば、両方の意見にはそれぞれ利点があるのだ。だから、関係ある人達同士が話し合って、解決策を見つけるのが最善なんだ。

「柔らかな受け答えは憤りを鎮め、傷つける言葉は怒りをあおる。」
(聖書協会共同訳聖書、箴言 15:1)

「わが岩、わがあがないぬしなる主よ、どうか、わわたしの口の言葉と、心の思いがあなたの前に喜ばれますように。」(口語訳聖書、詩篇 19:14)

へりくだつてたがいを思いやり、話し合い、祈れば、どんな争いも解決できるだろう。

